

横浜・川井小と地元作家

いじめ、歌で克服

メッセージ込め合唱

横浜市旭区の市立川井小学校が、同市港北区在住の作家ヒロコ・ムトーさん(64)が作詞した、いじめに悩む子へのメッセージソングを世界に広める試みに取り組んでいる。「あなたがいい」と「友だちにならない」の2曲をビデオレターに収め、6月に米シアトルの高校と小学校に贈る。児童は「少しでもいじめがなくなっってほしい」と願いを込めている。(佐藤 将人)

小さな体育館に、歌声が響く。

あなたに贈りたい言葉があります 世界中の誰よりもあなたがいい

誰にも言えずに泣いたあの日が今は嘘のようだ 友だちがいるから 友だちにならない? このあたたかい言葉はわたしを交えてくれた

(あなたがいい) (友だちにならない)

世界と歩む 神奈川っ子

6月 米の2校にビデオレター

少しふぞろいな合唱に、作詞したヒロコさんがほほ笑む。「素朴な歌声だからこそ、心に届いてくるんだね」

ヒロコさんはいじめ克服を呼び掛ける「心の宅急便」という朗読活動を続けている。昨年11月に川井小を訪れた際、児童が事前に練習していた「あなたがいい」を披露してくれた。歌声に感動したヒロコさんと詞に共感した学校側が、もっとこの歌を広めようと、ビデオレターを企画した。

送り先は、ヒロコさんの知人を通じて米シアトルのイングルモア高校とジョン・スタンフォード国際小学校に決まった。いずれも日本語教育が行われており、子どもたちは歌詞の意味を理解できるという。川井小では全校で歌えるよう、合唱の練習に励んできた。撮影したビデオレターは、6月にヒロコさんが現地に行って両校へ手渡す予定だ。曲には、ヒロコさんの2

人の娘がいじめに遭った時に、救いとなった言葉が取り返されていく。6年生の岩崎紀香さんは「いじめられている人の思いがそのまま書いてあった。そういう人に声を掛けてあげたいと思った」。倉持美穂さんも「完ぺきな人はいないし、一人一人違うんだと教えてくれた。だけど、なるべく

みんなが一人きりにならないようにしたい」。児童それぞれ思いを込め、を張り上げている。

「この歌が玉突きみたいに広がって、100人のち1人でも救われる子がいたら、こんなにすてきなことはないでしょ」とヒロコさん。歌で地球はつながると、信じている。

